

# 単元名 「めざせ野さいづくり名人」 第2学年（7）動植物の飼育・栽培

## ■ 本事例のポイント

1. 春蒔き野菜の栽培経験を想起し、秋蒔き野菜の栽培を通して、野菜の育て方の比較や季節の変化に気付けるようにした。
2. 全単元を通して「見つける・くらべる・たとえる・ためす・見とおす・くふうする」のカードを活用することで、分析的・創造的に考えることを意識させるようにした。さらに、子供の気付きを価値付け、気付きの質を高めるようにした。

## ■ 単元の目標

季節に適した野菜などの植物を育てる活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、野菜ごとの適切な世話の仕方、それらは生命をもっていることや成長していることに気付いたり、季節ごとの野菜と育つ環境などを比較したりしながら、植物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。

## ■ 単元の指導計画（23時間）

### 第1～第6小単元

「野さいづくりをはじめよう」  
 「春まき野さいをそだてよう」  
 「はたけづくりをしよう なえをうえよう」  
 「野さいのせわをしよう」  
 「野さいをしゅうかくしよう」  
 「なにをかんじたかな」

### 第7小単元

「あきまき野さいをそだてよう」  
 ・春蒔き野菜の経験を想起し、旬の野菜に気付く。

### 第8小単元

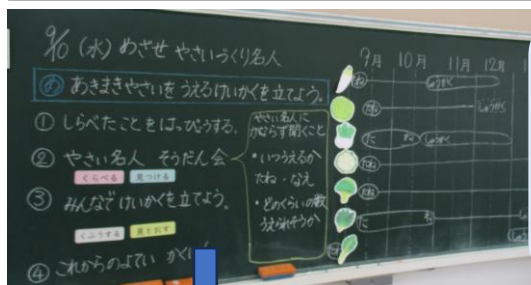
「なえやたねをうえて、野さいのせわをしよう」

### 第9小単元

「あきまき野さいをしゅうかくして、なにをかんじたかな」

## ■ 本時の概要

めあて：あきまき野さいをうえるけいかくを立てよう



児童が、本や電子図書館を使って調べたことを生かし、野菜名人に具体的に植える時期や育て方を相談して、みんなで秋蒔き野菜を育てる計画を立てていきます。



本で調べたことと、野菜名人の話との共通点や相違点を比べています。



畑の拡大図を囲み、春蒔き野菜の畑から、どのように変化するか話し合っています。

## ■ 学習調整をしている子供の姿



ブロッコリーについて調べたよ。本には、2～3月に収穫と書いてあったけど、苗から植えたら、12月には収穫できることが分かった！



ほうれん草について野菜名人に心配なことを聞いたよ。ほうれん草は、暑さに弱いけど、もう種まきしても大丈夫なんだ！よかった！メモしておこう！



大根は、2年生が一人一本植えるから……。どうしよう。



野菜名人、うねをのばせますか？



この空いているスペースに、ブロッコリーを植えたい！ここも植えられる？



カリフラワーは涼しいところで育つから、やっぱり日陰がいいかな？



## ■ 指導と評価の工夫

### ① 野菜名人相談会。

- \* 本や電子図書館で調べたこと、野菜名人の話を「くらべる」。
- \* 野菜名人の話から、野菜作りに生かせそうなことを「見つける」。
- \* 自分が調べ学習したことを基に、野菜名人に確認をしたり、相談をしたりすることで、自分の選んだ野菜が実際に植えられるかどうか判断できる。

### ② 畑の縮小図を使って、みんなで計画を立てる。

- \* 広さが決まっている畑の中で、植えたい野菜をどのくらいの数植えられるのか、みんなが納得するように「くふうする」。
- \* 実際に植えられるかどうか「見とおす」。



### ■ 成果（○）と課題（▲）

- 調べ学習の段階で、「ほうれん草は暑さに弱いと書いてある。今はまだ暑いけど、大丈夫か野菜名人に聞きたい。」などと、1学期からの関わりを通して、信頼している野菜名人へ相談したい気持ちが高まっていた。本時の相談会を通して、調べた内容をより確固たるものになっている児童が見られた。
- 畑の縮小図をクラスみんなで囲むことで、限られた広さしかない畑のどこでどのくらいの数を育てるのか、折り合いをつけながら計画を立てることができた。
- ▲ 野菜名人との相談会の時間が短かったこと。また、恥ずかしさから質問できなかった児童もいた。今後の野菜名人との関わりの中で、積極的に質問し、交流を深めたい。



## ■ 学習環境整備

### 子供が学び方を選択・決定する場面の設定

#### ・電子図書館・図書室の本等の活用

疑問に思ったことをいつでも調べられる環境の設定。

休み時間や家庭学習との有機的な結び付き。

#### ・年間を通じた野菜名人との関わり

プロフェッショナルとの関わりを通じて、体験的な学びがより深い学びへつながる。児童が地域に目を向けるきっかけとなる。



#### ・スタディ・ログ（学習履歴）

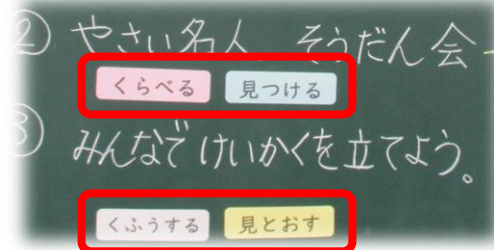
教室後方に掲示してある学びの変遷を見て、いつでもこれまでの学習が想起できる環境設定。



#### ・学習活動のカード

意識させたい6つの気づきをカードにすることで、思考を焦点化。

Point! 全単元及び他教科でも、年間を通じて活用。



## ■ 合科的・関連的指導

### 【国語】＊書くこと

育てている野菜の生育状況を、実際に見たり触ったりにおいを嗅いだりして、丁寧に観察したことを生かし、観察記録を書く。

### 【算数】＊「長さの単位」

株間を何cm空けるかを調べたり、10cmの感覚を生かして、畑の作業を行ったりする。

### 【社会】＊「地域社会」

地域の方と交流する経験が、第3学年の地域学習につながる。

### 【理科】＊「生物と季節」

通年で野菜の栽培について学習することで、野菜によって育つ時期が違うことに気付く。生育環境や生育条件に目を向けることで、理科の学習につながっていく。

### 【道徳】＊生命尊重 ＊国や郷土を愛する態度

野菜を育てることで自然愛護の気持ちを高めたり、野菜名人との関わりを通して、地域のよさを実感したりすることができる。

### 【食育】

給食の時間に、「旬の野菜」について話をしたり、栄養教諭に、栄養素について教えてもらったりすることで、野菜についての理解が更に深まる。